



ジャガー・ルクルトが「レベルソ・トリビュート・エナメル」

- 葛飾北斎『下野黒髪山きりふりの滝』を発表

東西の芸術的伝統を融合

およそ 2000 年に渡って、アジアとヨーロッパの双方向の文化交流は、視覚芸術から舞台芸術に至るまで、東洋と西洋のあらゆる芸術形態、および織物、ガラス、陶器の製造技術に深い影響を与えてきました。

これは、ジャガー・ルクルトがマニュファクチュールの歴史を通じて行ってきた交流でもあります。レベルソ誕生 90 周年に際し、ジャガー・ルクルトはこの長年続いてきた文化交流を精巧な新しい「レベルソ・トリビュート・エナメル」のタイムピースで祝福します。

下野黒髪山きりふりの滝

ヨーロッパのクラフツマンシップと日本の技が融合したケースの裏側は、葛飾北斎が 1830 年代初めに制作した『下野黒髪山きりふりの滝』の木版画を忠実に再現したエナメル細密画で東洋の芸術を称えています。『下野黒髪山きりふりの滝』は、1831～1833 年にかけて日本の本州の各地を北斎が訪れて名瀑を描いた 8 枚揃いのシリーズ木版画『諸国瀧廻り』の中の 1 枚です。

ジャガー・ルクルトの創造性、およびその芸術と文化の世界に対するビジョンを体現したこの新しいタイムピースは、マニュファクチュール ジャガー・ルクルトのメティエ・ラール®(希少な職人技)の工房で働く職人たちの優れた才能と技を証明するものです。

入念に練り上げられたケースバックを始めとするこのタイムピースの装飾は、このような芸術作品に特有の多くの課題があったことを示しています。これらの課題の中で最も注目すべき点は、37x24.5cm のサイズの作品を、滝を見上げる人々を含めたあらゆるディテールを完璧な比率で取り込み、オリジナルの 10 分の 1 程度の大きさで再現することでした。

北斎は、100 メートルの山腹を流れ落ちる水の力強さと美しさを表現するために、前作よりも広大な遠近法と大胆なカラーで霧降の滝を表現しました。エナメル職人は、これを完璧に模倣するだけでなく、木版画技法による錯覚を作り出し、エナメル加工とはまったく異なる特殊な効果を生み出す必要がありました。特に、多色刷りでは、それぞれ異なる色を順番に適用するため、複数の木版を使用する必要があります。オリジナルに見られる微妙なニュアンスと徐々に変化する色のぼかし効果を再現する



という特別な課題が課せられました。このような錯覚を起こすために、ジャガー・ルクルトの熟練したエナメル職人たちは独自の技術を開発する必要がありました。

ファセット加工が施された植字インデックスとドーフィン針が付属したレベルソ・トリビュートのダイヤルのシンプルさは、その装飾の美しさを最大限に引き立てています。ケースバックの細密画の芸術性に呼応するこのダイヤルには、流れる水の効果を表現するために選ばれた珍しい波模様のギョーシェ彫りが施されています。特定のパターンを作り出すために特殊なカムが付属した1世紀前の旋盤を使用して手作業で作られたこの波状の視覚効果は、裏面の細密画のディテールに見合った柔らかなグリーンカラーが何層にも重ねられた透明のグラン・フー・エナメルによって引き立てられています。

エナメル層を形成するために何度も焼成した後、最終的な課題として、無傷でのインデックスの取付（エナメルの手つかずの表面に小さな穴をあける）と、レールウェイミニッツトラックの転写が行われます。

すべてのエナメル加工と同様に焼成工程によって予期しない変色の可能性があるため、レベルソ・トリビュート・エナメルのダイヤルの色を裏面の絵画と完全に一致させ、なおかつこの絵画を北斎のオリジナルのカラーで忠実に再現するためには、相当数の時間を要します。これらの時間に加えて、ほぼ5時間の作業時間をギョーシェ彫りのみに費やす必要があり、さらにその後、透明のグリーンのエナメル層を作るために8時間の作業時間が追加されます。つまり、ケースバックに細密画を描くだけで70時間以上の作業時間を要するのです。



葛飾北斎について

西洋で最もよく知られている日本人芸術家、葛飾北斎 (1760-1849) は、非常に多作な挿絵画家、版画家、浮世絵師です。彼の名声は、世界で最も有名な芸術作品の 1 つである『神奈川沖浪裏』を含む名所木版画シリーズ『富嶽三十六景』によって、80 歳を過ぎてから確立されました。(ジャガー・ルクルトは、この『神奈川沖浪裏』を 2018 年に限定版のレベルソにエナメル細密画として再現しました。)

江戸時代 (1600-1868) の商人階級の快楽的な生活様式を描いた浮世絵の大流行によって、17~19 世紀にかけてこれらの絵画を再現する手段として木版印刷が隆盛を極めました。革新的な構図と色使いを特徴とする北斎は、浮世絵を肖像画だけでなく、風景、植物、動物を含むより幅広いジャンルへと変化させることに尽力しました。彼の名声の結果として、浮世絵と木版画は、西洋における日本美術の認識を形成する上で中心的な役割を果たしました。

技術仕様

レベルソ・トリビュート・エナメル

ケース：ホワイトゴールド

サイズ：45.5 mm x 27.4 mm x 9.73 mm

ムーブメント：ジャガー・ルクルト製キャリバー822、機械式手巻

機能：時、分

パワーリザーブ：42 時間

ダイヤル：ギョーシェ彫りおよびグラン・フー・エナメル

ケースバック：グラン・フー・エナメル細密画

防水性：3 気圧

ストラップ：ブラックアリゲーター

リファレンス：Q39334T2 - 10 本限定モデル

レベルソについて

1931 年、ジャガー・ルクルトは、20 世紀のデザインのクラシックとなるタイムピース、レベルソを発表しました。ポロの激しい試合にも耐えられるように作られており、すっきりとしたアールデコ調のラインと独自のリバーシブルケースを備えたこの時計は、瞬時に識別することができます。誕生から 90 年間、レベルソはアイデンティティに妥協することなく自らの存在を常に変化させてきました。50 種類以上のキャリバーが搭載され、何も描かれていないメタルの裏面はクリエイティブな表現のためのキャンバスとなり、エナメル、エングレービング、ジューストーンなどで装飾が施されました。今年、90 周年を迎えたレベルソは、変わることなく、その誕生にインスピレーションを与えた現代の精神を象徴し続けています。